



ガールスカウト東京第4団  
団委員長 古谷久代

20年おめでとうございます。



ボーイスカウト東京港第1団  
団委員長 内藤正樹

20年前、私にとって伝説の人であったウィリアムズさんが生存していて、BSの今田さんが50年間ずーと連絡を取っていたと知ったときは、さすがスカウトと驚きと感心しました。

そのウィリアムズさんを50周年の行事にお招きしようと募金をはじめたのですよね？ 沢山募金が集まって喜んでいたので、体調を崩されたウィリアムズさんの来日は叶いませんでした。その時集まった資金を基に、現スカウトのために何か支援を始めたスカウトクラブ。団への援助やプログラムの提供にとっても感謝しています。

ガールスカウトの場合、学生リーダーは学校制度の変化によりなかなか時間が取れない、あとは社会人として仕事をバリバリこなしているリーダーがほとんどで、集会運営は本当に大変です。それに反比例してスカウト数はこのところ増えています。昔のように組単位の動きも可能になってきています。

スカウト達が楽しい集会を過ごせるようにスカウトクラブの皆様のより一層のご支援、紙面をお借りしてお願いする次第です。集会は相変わらず土曜日の午後になっています。

OG、OBの皆様、是非遊びに来てください。声をかけてください。いつでもおまちしています。

(会報46号寄稿文から抜粋)

霊南坂スカウトクラブが結成されて、20年が経過したとは月日が経つのが早いものだと、今更ながら深く感じます。20周年を迎えお祝い申し上げます。

私が霊南坂スカウトクラブと深くお付き合いを始めたのが、2005年4月29日、葛西臨海公園のバスピクニックからです。その前年に千葉県昭和の森公園にバスピクニックを行い、2年連続のバスピクニックで、前回の反省を取入れた新たな実施計画を立てるところから参加させていただきました。麻布十番の「オリーブ」店を拠点として、何度も、平日の夜、打合せを行ったことを今でも思い出します。バスピクニックの当日も色々楽しかったこと多くありますが、準備段階で色々提案を出し、議論し、提案を却下されたり、大いに賛同されたりしながら、時間に追われての作業が一番楽しかったなと思い出しています。当時の計画メンバーの中心人物が故加藤理夫さんでした。加藤さんのバスピクニックへの情熱は大変なものでした。その後も、スカウトクラブ主催の上級救急法講習会、野川公園ハイキング、60周年記念パーティでのレストラン、那須野営場での「ニコニコキャンプ」、毎年スカウトサンデーでの出し物、音楽会・演奏会の開催などなど、楽しいプログラムを与えていただき感謝しています。

また、毎年、ボーイスカウト活動支援(寄付)をしていただいております。いつも感謝の声を聞いています。いつもボーイスカウト活動のサポートをしていただきありがとうございます。ボーイスカウトの東京連盟や大都心地区の会議などで、霊南坂スカウトはボーイスカウト、ガールスカウト、霊南坂スカウトクラブ(OB,OGの集まり)が活発に活動しており、歴史のある団であることは分かっているが、OB,OGが集まり、現役の団をサポートする組織が構築していることを褒められることが多々あります。長い歴史が有っても、OB,OGが集まり、まとまった活動が出来る場所は少ないと言われる。この活動を更に続けていただき、30周年、50周年とますます、発展していかれることを心から願っております。